



# FUJIKURA NEWS

新年のごあいさつ

本年もよろしくお願い申し上げます。

皆様には平素より格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、長期化したコロナ禍の影響や、半導体をはじめとしたサプライチェーンの停滞等を背景に経済成長に弱さの見られる一年となりました。しかしながら、足元では新型コロナウイルスの感染者数減少と活動制限の緩和を背景に消費活動に持ち直しの兆しがみられます。

オミクロン株の感染が世界的に拡大しており、日本における新型コロナウイルス感染症の先行きは依然として不透明感が強いものの、感染をしっかりと抑え込むことで個人消費が回復に向かい、加えて、サプライチェーンの正常化が進むことで日本経済が正常な成長軌道へと向かうことを願っています。

上期の当社グループの経営成績は、世界的な半導体不足の影響や、新型コロナウイルスの感染拡大による一部拠点での操業低下の影響があったものの、各国のデータセンター、FTTx向けの需要が高く、売上高営業利益率は5.7%、営業利益額は186億円となりました。

下期はデータセンター、FTTx向けが引き続き堅調に推移するとみられる一方、自動車事業部門においては東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大に加え、半導体不足によるお客様の減産影響を受けたことにより、通期の売上高営業利益率は4.7%、営業利益額は300億円を見込んでおります。

当社は2019年度の大幅な決算悪化を受け、2020年度を最終年度とした中期経営計画を断念、「ガバナンス強化」と「聖域なき選択と集中」を要諦とした事業構造改革「100日プラン」を策定し、その実行にあたってきました。

これらの取り組みにより、再生に向けた固定費削減効果は21年度末で145億円を見込みます。

次なる成長フェーズの中で、当社は「新生フジクラ」へと生まれ変わり、「つなぐ」テクノロジーを通じて持続可能な未来ある企業となり、社会に貢献していきます。

本年もフジクラニュースを通じて、当社グループの製品情報を紹介してまいりますので、皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。



取締役社長CEO  
伊藤 雅彦





